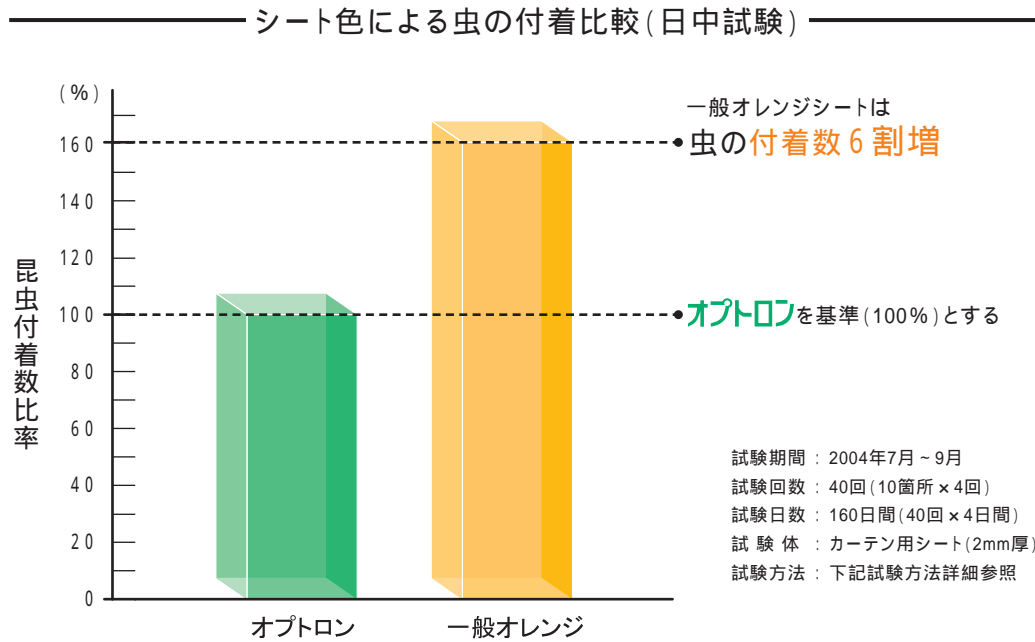


試験データ：日中シート反射光試験



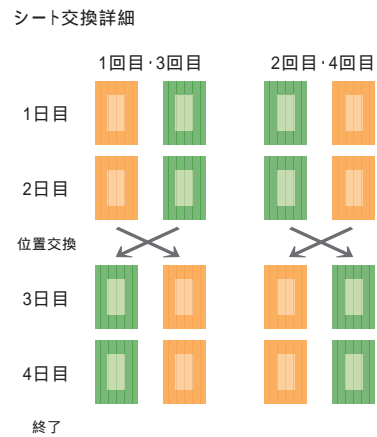
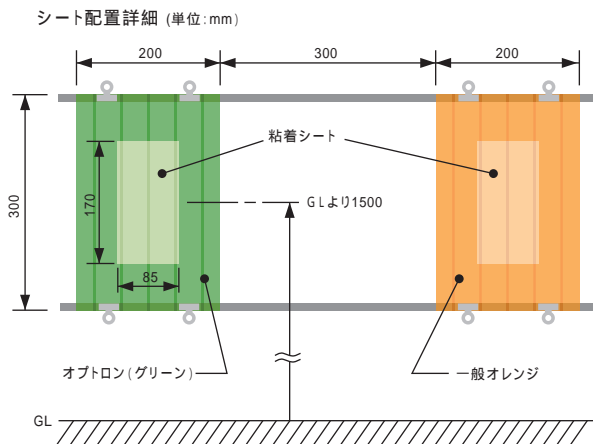
試験結果：オレンジシートは、虫を誘引する。



上記、「シート色による虫の付着比較」試験は、色による虫の行動を比較する為、試験は屋外での自然光の下、オプトロングリーンと一般オレンジのシートを並べて置いた時の、シートへ付着した虫の頭数比較である。
 オプトロン法による試験が、日没後、蛍光灯を光源としたシート透過光により、夜間の虫の誘引阻止率を求めるのに対し、今回の試験は、日中のシート自体の色への虫の行動を確認する為の試験である。

試験方法詳細

- 試験体は、一般に工場で使用される2種類のカーテンシート(オプトロン(グリーン)とオレンジ)を300mmにカットして使用する。
- シートの両面中央へ粘着シート(170mm×85mm)を貼り付け、その粘着面に付着した虫の頭数の比較を行なう。
- 試験は、2日間経過後シート位置を交換し、計4日間にて1回の試験とする。
- 試験場所は、任意の10箇所にて行い、1箇所にて4回(4日×4回=16日)の試験を行う。
- 試験データは、4回×10箇所における、シート中央粘着シートに付着した虫の頭数の比較とする。



OPTRON

「オプトロン」の防虫とは、光に誘引される特性(正の走光性)の昆虫を光源に誘引しないことをいいます。
 「オプトロン」は、日本、アメリカで特許が取得されています。類似品にご注意ください。



やさしい光がテクノロジー

オプトロン®

試験データ：夜間シート透過光試験

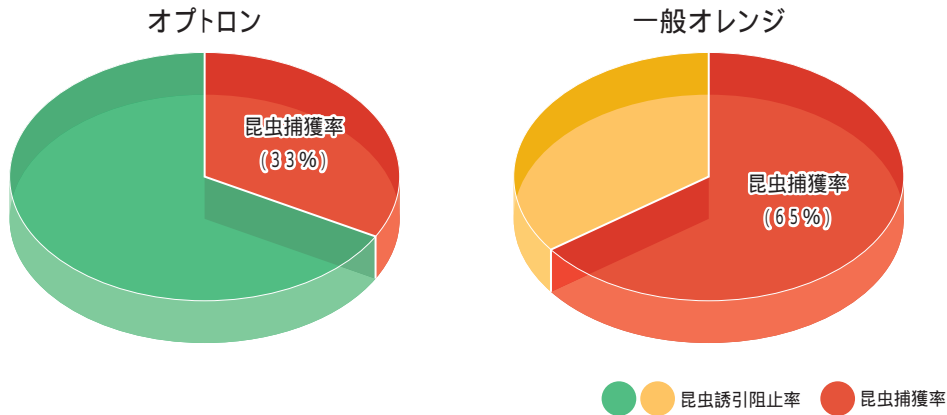
夜間
night

試験結果：昆虫捕獲率が $\frac{1}{2}$ であることから、

オプトロンは、一般オレンジの**2倍の防虫効果**がある。

昆虫捕獲率

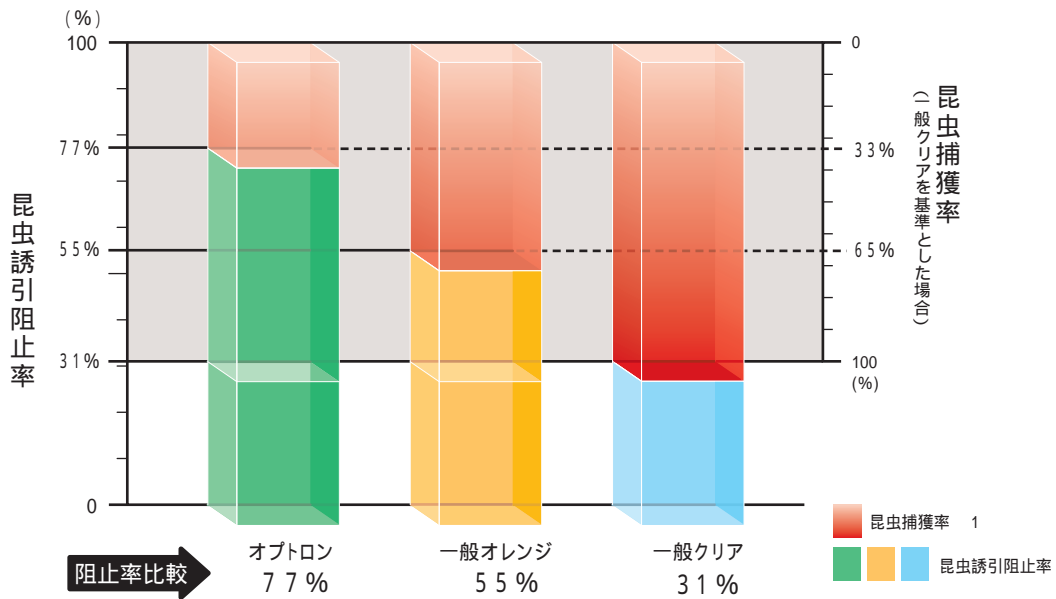
(一般クリアを基準とした場合)



昆虫捕獲率 HACCPの観点で見る危険度

HACCPの観点からは、どれだけ昆虫の危害が予測されるか(虫が寄って来ってしまう危険度)が問題であり、一般クリアシートから防虫シートに交換した場合、どれだけその危害(危険度)を回避できるかの防虫効果が重要とされる。

昆虫誘引阻止率



試験期間：1990年8月～1996年8月
試験回数：44回
試験体：塩ビシート
試験場所：千葉県内2箇所
試験方法：オプトロン法(日本環境動物昆虫学会発表)

<注意> 上記のグラフの数値は、公正を期すため、天候、風向、気温などの影響によるイレギュラーな数値をも全て含めて算出した値である。捕獲昆虫には、光以外の要因で捕獲された昆虫も含まれている場合もあると考えられる。

1 昆虫捕獲率

フィールド試験専用照明器(白色蛍光灯10形)に、試験体(塩ビシート)を装着したものと、コントロール(ガラス板)を装着したものとを比較試験において、コントロールの捕獲数を100%とした時の、各試験体の捕獲率。
(例：試験体 30匹 / コントロール 100匹 昆虫捕獲率30%)

OPTRON

「オプトロン」の防虫とは、光に誘引される特性(正の走光性)の昆虫を光源に誘引しないことをいいます。
「オプトロン」は、日本、アメリカで特許が取得されています。類似品にご注意ください。



特許オプトロンの超防虫シート装着

オプトロン 防虫シート